

軽妙な語り口で楽しく地域の歴史を紹介

団体名 北高夢ロード実行委員会 (下関市)

代表者名	波多野 宏之	団体の目的
構成員数	57人	・ 県立豊北高等学校・県立下関北高等学校の通学・学習支援に関する活動を行うことにより、まちづくりに寄与する
設立	H25年8月	
問い合わせ先	http://yumeroad.org/	

事業名 展示環境の補充改善と鑑賞機会の拡充による空き店舗ギャラリーの展開

- 事業の目的**
- 展示作品の増大と多様化に対応するための展示環境の補充整備
 - 他機関への巡回や福祉施設への貸し出し、ネット上での展示を行う
 - 首都圏在住会員を中心とした企画を実施し、活動への参画を促進する

- 事業の内容**
- 展示環境の補充整備
仮設展示壁の増設、額縁などを購入し、貸出作品などに使用
 - 作品鑑賞機会の拡張 ※実施場所はギャラリー夢ロード
 - ① 尾瀧正美『にぎめ』表紙原画展
5月11日～23日 / 参加者88人
6月22日～8月1日の間、下関市豊北生涯学習センターで巡回展示
 - ② 「しかけ絵本」展 (首都圏在住会員企画)
11月2日～28日 / 参加者183人
12月1日～1月31日の間、梅光学院大学図書館で巡回展示
 - ③ 北高成果展2022
2月15日～27日 / 参加者68人
3月1日～13日の間、下関市豊北生涯学習センターで巡回展示
 - ④ 美術品を借りよう！これがアルトテークだ。
3月8日～20日 / 参加者62人
11か所へ作品16点を貸出

- 事業の成果**
- 展示環境を補充整備したことで、多くの作品を効果的に展示できるようになった
 - 他機関へ作品展示の巡回ができ、作品貸出も前年より数が増えた
 - しかけ絵本展を首都圏在住会員が準備して実施できた

活動現場レポート

美術作品を借りよう！これが「アルトテーク」だ。
(3月18日／ギャラリー夢ロード)

- ◆ アルトテークとは美術品を持ち帰って自宅などで鑑賞できる当会のシステムで、ギャラリーには水彩画、版画、写真、切り絵、日本画、ポスターなど約100点が展示されていました。来場者は、展示されている作品をじっくりと鑑賞されていました。
- ◆ また、この日は「音楽とお話しの夕べ」も開催されました。テーマは「新世界交響楽と銀河鉄道の夜」で、「銀河鉄道の夜」の小説を紹介し一部を朗読された後、新世界交響楽の第2楽章、第3楽章をレコードで聞きました。作品の世界を五感で堪能することができました。



素敵な作品に囲まれながら

団体名 山代神楽連絡協議会 (岩国市)

代表者名	谷口 和正	団体の目的
構成員数	100人	・神楽の保存と振興を図るとともに、その活動をもって地域の振興に寄与する
設立	H18年7月	
問い合わせ先	☎0827-95-0005 (岩国市教育委員会美和支所)	

事業名 山代神楽共演大会 第20回記念大会

事業の目的 ○各神楽の紹介や、神楽の背景となる地域資源の発掘・紹介を行うことで、中山間地域の振興に繋げる

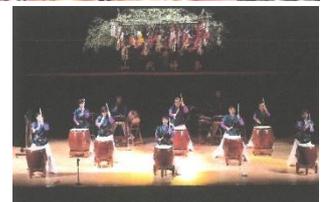
事業の内容 ○山代神楽共演大会 第20回記念大会の開催
 11月28日(日) 10:00~16:30 / ハーモニーみわ
 山代神楽6団体と子ども神楽3団体、美川観音太鼓の共演
 「神殿開き、恵比須」(金山神楽保存会) / 「七夕舞」(山代神楽本谷保存会)
 「塵輪」(向峠神楽保存会) / 「岩戸」(東谷神楽保存会)
 「三鬼」(北中山こども神楽) / 「鼓蝶乱」(美川観音太鼓保存会)
 「八岐乃大蛇」(本郷子ども神楽) / 「大江山」(生見子ども神楽)
 「黄泉醜女」(上沼田神楽保存会) / 「八岐乃遠呂智」(山代白羽神楽保存会)
 ○広報事業として、山城神楽の情報を web で配信

事業の成果 ○練習意欲の維持・向上、関係団体や行政機関との交流が図られた
 ○コロナ対策を取りながら、地域文化の継承を図ることができたことは、神楽継承の大きな成果となった
 ○約2年ぶりに地域住民に神楽を披露でき、開催した意義があった
 ○今年度取り組んだ web 配信やミニステージを絡めながら、今後も山代神楽の魅力をより発信できる大会を目指していきたい

活動写真



それぞれの団体が工夫しながら、今できる演舞を全力で披露されました



団体名 NPO法人ダンデライオン (柳井市)

代表者名	立川 邦廣	団体の目的
構成員数	13人	・ 広く地域住民に対して、福祉や環境保全の活動、ふれあいライブ等のイベントを企画、実施する ・ 地域でボランティアや文化活動等を行っている人たちの育成及び全国的なネットワーク化に関する事業を行い、地域におけるまちづくりや文化振興等に寄与する
設立	H20年7月	
問い合わせ先	山口きらめき財団へ	

事業名 抒情歌を通じて日本の音楽文化による地域づくり事業

事業の目的

○抒情歌を通じて、ふれあい、交流ができ、高齢者の孤立防止や、若者、子どもの健全育成につながり、地域づくりに寄与する

事業の内容

○抒情歌（日本の音楽）を通じた地域づくり
 毎月第2金曜日／柳井市文化福祉会館
 先生の指導による抒情歌の歌唱や発声等による健康づくりを実施
 ○童謡詩人野口雨情の名曲を歌う「柳井サザンセットコンサート」を開催
 9月23日（木）14:00～16:30 / 柳井市文化福祉会館／参加者 60人
 地域の音楽団体による演奏が披露され、野口雨情の名曲を全員で合唱

事業の成果

○コロナの影響で、抒情歌を歌う会は5回しかできなかったが、高齢者や地域住民がふれあい、孤立防止に役立った
 ○日本の童謡文化を柳井から発信する地域づくりとして開催しているコンサートは、地域住民の反響がとてもよかった。今後も何等かの形で継続したい

活動現場レポート

童謡詩人野口雨情の名曲を歌う 柳井サザンセットコンサート
 (9月22日／柳井市文化福祉会館)

- ◆ 抒情歌を通じて日本の音楽文化による地域づくりを目指す試みとして、柳井にゆかりのある童謡詩人「野口雨情」の名曲を歌うコンサートが開催されました。
- ◆ まず、「野口雨情と郷談会との出会いと童謡文化を次世代に」と題して、野口雨情と柳井の関わりや彼の残した柳井各所を詠んだ詩について、柳井郷談会の松島幸男会長が講演されました。
- ◆ その後、岩柳ウクレレの会による演奏、フリーダム（プチアンサンブル）による独唱のコンサートが行われ、楽しいステージとなっていました。コロナの影響により、出演予定の2団体を取りやめとなりましたが、飛び入り参加した周防大島の「マウンテンマウス」による演奏や、周防大島で活動されている太田ふみさんがフラダンスを披露されるなど、会場は大いに盛り上がりました。



フラダンスに魅入る参加者

団体名 小串ヤマグチサンショウウオ保護・保存会 (下関市)

代表者名	新村 義昭	団体の目的 ・小串地区の堂道川上流に棲息するヤマグチサンショウウオを、生息環境も含めて保護・保存するための最良の方策を策定する ・小串小学校児童への「ヤマグチサンショウウオ」を介しての自然環境教育を実施する
構成員数	9人	
設立	H28年4月	
問い合わせ先	山口きらめき財団へ	

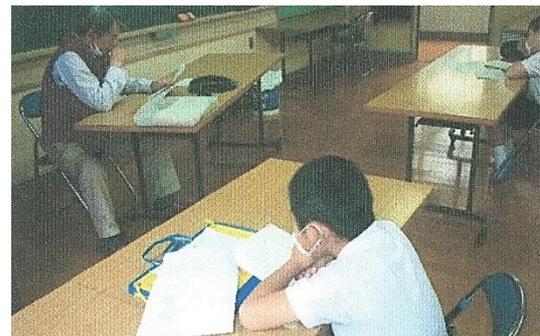
事業名 「ヤマグチサンショウウオ」保護・保存策の検討と自然環境教育の実践

- 事業の目的**
- 夏季の高温により、飼育中のサンショウウオの死亡が多数みられたため、冷房装置を設置する
 - より多くの幼体を絶滅地に放逐し、自然回復を図るなど、「飼育過程から現地放逐まで」を包括した子ども達の自然環境教育の場をつくる

- 事業の内容**
- 小串小学校児童によるヤマグチサンショウウオの飼育観察
下関市立小串小学校の校内に水槽を設置し、児童で結成された調査隊と当会会員による「ヤマサン調査隊」が年間をとおして生育観察を実施。成果は飼育観察記録としてまとめ公表

- 事業の成果**
- 卵から孵化までの成長過程をじっくりと観察できた
 - 冷房装置を用いた幼体の飼育は、夏季の死亡率が前年と比較して大幅に低下した
 - 「隠れ家」を設置して利用するか試験を行ったが、利用した形跡はなく、隠れる場所なら何でもよいという訳ではないことが分かった
 - 引き続き調査を実施し、県固有種の保存に貢献したい

活動写真



小学校での観察



県固有種の
ヤマグチサンショウウオ



設置した
冷却装置

団体名 宇部自然保護協会 (宇部市)

代表者名	島 徹史	団体の目的
構成員数	64人	・自然保護を基調とした快適な生活環境を維持するため、宇部近郊の自然に親しみ、調査研究し、その保全に努めるとともに、自主的実践活動を通じて、郷土の発展に寄与する
設立	S46年9月	
問い合わせ先	TEL 090-3748-4923 (村田)	

事業名 宇部北部、小野湖の保全と周辺の整備作業

事業の目的 ○小野湖の清掃作業を通して、自分たちが使用する水源の現状を肌で感じてもらう

事業の内容 ○ヒメマイトトンボ観察会
6月27日(日) / 厚東川河口部 中川ポンプ場前 / 参加者 14人
絶滅危惧でもあるトンボの観察会

○第2回クリーンウォーキング in 小野湖
11月14日(日) 9:00~12:00 / 小野湖周遊道路 / 参加者 50人
アクトビレッジおのと厚東川ダムの2か所で湖岸周辺のごみを拾いながらのウォーキングイベントを開催

○宇部市主催の「生物多様性市民会議」でのパネル展示
3月20日(日) / 小野ふれあいセンター
小野湖の清掃活動のパネル展示を行い、活動をPR

事業の成果 ・清掃作業を通して、自分たちの生活用水の源を取り巻く環境について肌で感じてもらった

・クリーンウォーキングは、水とそれを取り巻く環境を大切に作る気持ちを育ててもらえる機会となった

活動現場レポート 第2回クリーンウォーキングin小野湖 (11月14日 / 小野湖周辺)

- ◆ アクトビレッジおのから小野湖下流へ向かうコースと、厚東川ダムから上流へ向かうコースに分かれ、小野湖周辺をウォーキングしながら道路沿いのゴミ拾いを行う「クリーンウォーキング」が実施されました。
- ◆ 高校生や専門学校生、地域住民や企業、行政などからの参加者は、ゴミ袋と火ばさみを持って、それぞれのペースでゴミ拾いを開始しました。
- ◆ ゴミはあまりないかもしれないと説明がありましたが、ペットボトル、缶、瓶などが多く見わかりました。また、冷蔵庫などの粗大ゴミの不法投棄もたくさんありました。
- ◆ 約200kgのゴミを回収し、みんなで分別を行いました。回収したゴミは、不法投棄分も含め県や市が処分をされたとのことでした。



湖岸周辺には大量のゴミが破棄されていました

団体名 ひかりエコメイト (光市)

代表者名	藪 博昭	団体の目的
構成員数	12人	・自然環境の保護・再生及び環境関連の事業を行い、その活動を通じて、地域社会に貢献する
設立	H15年4月	
問い合わせ先	山口きらめき財団まで	

事業名 SDGs環境活動で島田川州域を結ぶ～連携と連環～

事業の目的 ○上流と下流の交流を深め、地域の団体、自治会、学校など地域の異世代と連携して豊かな流域づくりを目指す

事業の内容 ○浅江小学校3年生の出前授業
7月5日(月)、12日(月) / 島田川、浅江小学校 / 参加者180人
①生き物観察とごみについてのフィールド授業
②底生生物の暮らし動画、漂着ごみの様子などの授業
○島田川の河口の自然を楽しもう! We♥島田川
10月17日(日) 10:30~12:30 / 島田川 / 参加者44人
清掃活動や生き物観察会、ヨシの原っぱでの宝探しゲーム等

事業の成果 ○自然を満喫し、自然の豊かさを子ども達に実感してもらえた
○出前授業は、理解を速め、学習効果があり、自分事としてとらえてもらえた
○大学生や高校生にボランティアリーダーを任せたが、小学生などと上手くコミュニケーションが取れていた。今後も学生達と連携をとり、活動への参加を呼び掛けていきたい

活動現場レポート 島田川の河口の自然を楽しもう! We♥島田川 (10月17日 / 島田川)

- ◆ 参加者、スタッフ等全員で集合写真を撮影した後に、干潟の漂着ごみ拾いを行いました。ごみが漂着しているようには見えませんが、多くのごみが回収されました。
- ◆ 生き物観察会では、参加者は、水の中に網を入れたり、砂地を深く掘ったりそれぞれの場所で生き物を探し、バケツの中は、いろいろな魚でいっぱいになっていました。
- ◆ プログラムの最後は、子ども達が楽しみにしていた宝探しが行われました。ヨシ原の中に隠された番号札を見つけることができたなら、景品と交換してもらえるので、スタートの合図とともに、全速力でヨシ原に向かう姿はとても微笑ましかったです。
- ◆ 自然に親しみながら、家族みんなで楽しんで健康的に学べるイベントでした。



楽しみながら環境学習

団体名 NPO法人山口バイオマス利用研究会 (周南市)

代表者名	水井 賢二	団体の目的 ・バイオマスの利活用に関する研究及び実践並びに環境教育に関する事業を行い、地球環境の保全並びに地域の産業の発展及び雇用の創出等に寄与する
構成員数	16人	
設立	H25年4月	
問い合わせ先	TEL 0834-62-0386	

事業名 地域資源の活用によるSDGsの実現

- 事業の目的**
- 荒廃した竹林の整備と竹資源活用
 - 持続可能な林業システム構築
 - 持続可能な農業の展開
 - 再生可能なエネルギーによる発電事業拡大

- 事業の内容**
- 竹林の整備と竹資源活用
8月から1月の間、周南市夜市の竹林にて、整備、調査、竹資源利用についての検討を実施
また、林業システムの構築や再生可能なエネルギーの発電、「自伐林業」に関するデータ収集を行い、持続可能な農林業の展開について研究を行うとともに、成果は冊子にまとめて広く配布

- 事業の成果**
- 荒廃竹林の枯竹除去、生育密度の調整等を行い、景観を改善できた
 - 無農薬、無化学肥料の農業の成果を上げることができた
 - 再生可能なエネルギーによる発電事業拡大のため、太陽光発電に関してのデータ収集を行い報告書にまとめ、節電につながる研究を行った
 - 引き続き活動を行い、竹林への不法投棄によるマイクロプラスチックの問題や農業従事者の確保、農地や山林の保全等の問題に取り組んでいきたい

活動現場レポート 竹林整備・タケノコ生産・竹材活用 (9月24日/周南市夜市下畑)

- ◆ この日は、竹の伐採練習と伐採した竹の引き渡しが行われました。作業は、県道180号線沿いの竹林で行われましたが、急斜面で足場がとても悪い場所でした。参加者やスタッフは、竹の倒れる向きをコントロールしながらチェーンソーで切り、余計な枝を落として5mほどの長さに切り揃えて運び出されていました。
- ◆ 約100本の伐採した竹は、NPO法人青い鳥動物愛護会に提供されました。提供された竹は、ドッグランの垣根や小屋の補強に活用される予定とのことです。
- ◆ 竹林整備作業はとても大変ですが、皆さん一生懸命作業をされていました。



足場の悪い中での地道な作業

団体名 屋代島さとうみネットワーク (周防大島町)

代表者名	田中 貞徳	団体の目的
構成員数	6人	・周防大島の豊かな海の維持・向上に貢献し、次世代に継承することを目的に、周辺海域の環境整備や意識啓発を行い、住民や行政が一体となって里海を形成する
設立	H31年4月	
問い合わせ先	TEL 090-7507-2821	

事業名 周防大島沿岸美化ピカ事業

事業の目的 ○沿岸部に無数のプラスチックごみが漂着し、見苦しい状況で、生物への影響も懸念されているため、海岸清掃を始め各種活動を通じて環境保全のための啓発を実施し、豊かな里海を目指す

事業の内容

- 海洋環境パネル展
5月30日～6月29日 / 道の駅サザンセトとうわ
海洋ごみ削減に関するパネル展示
- 海岸清掃
5月・7月・8月・10月の4回/道の駅「サザンセトとうわ」付近の海岸清掃に合わせて、プラごみで作るフォトフレームやミニコンサート等を実施
- 親子沿岸環境調査
7月29日(木)、大島商船高専の実習船を使用して、漂着ごみの状況、透明度、水温、植生、地質、ニホンアワサンゴの観察等を実施
- 子ども海洋環境教室
9月20日(月・祝)/なぎさ水族館付近海岸
海岸の生物観察し、生息している生物で、水質と豊かさを判別調査
- 環境保護活動講演会
12月4日(土)/東和総合センター/
環境保護活動を行っている3人による講演会

事業の成果 ○清掃活動を環境行事とすることで、日ごろからごみ問題に関心を示している人との交流が深まり、海浜の環境保護の機運が高まった

活動現場レポート

海の環境と安全パネル展・真宮島ごみ拾い (5月30日/道の駅サザンセトとうわ)

- ◆ この日は、「海の環境と安全パネル展」とごみゼロの日に合わせてごみ拾いが行われました。
- ◆ パネル展では、周防大島町の海岸の実態や漂着物の状況写真が掲示され、ごみが海洋へ与える影響等について図表で説明されていました。多くの人が訪れており、啓発につながったと思います。
- ◆ ごみ拾いでは、真宮島に渡る道中を中心に行いました。事前申込者だけでなく、観光客もごみ拾いに参加し、発泡スチロールやカキ養殖用パイプなど約30袋分のごみが集まりました。



パネル展の様子



親子一緒に
ゴミ拾い

団体名 下松市防災士会 (下松市)

代表者名	今治 正明	団体の目的
構成員数	10人	・自助、共助の考えのもと、防災士相互及びほかの防災関連団体との連携を図ることにより、自主防災意識の向上と安心・安全のまちづくりに寄与する
設立	H30年5月	
問い合わせ先	TEL 090-1684-4951	

事業名 みんなで楽しく学ぶ避難・防災事業 (ESG:避難シミュレーションゲーム活動)

事業の目的

- 具体的な防災意識の習得、通学時等における避難・防災意識の啓発と周知
- 最近の気候変動内容の把握と周知、災害発生時「逃げ遅れゼロ」を目指す
- ESG (避難シミュレーションゲーム) のPR活動

事業の内容

- ESG (避難シミュレーションゲーム) の寄贈
10月24日(日)、下松市役所において、当会が企画して製作したESG (避難シミュレーションゲーム) 教材4セットを下松市に寄贈
- 防災講座 (ESG)
11月25日(木) / 下松市立末武中学校 / 参加者約300人
中学生にESG (避難シミュレーションゲーム) の実体験を通じて、災害発生時の避難所運営の演習などを学んでもらう
- 防災講演会
11月27日(土) 13:30~15:30 / ほしらんどくだまつ / 参加者50人
第1部 講演「最近の気候変動について」(講師:坂本京子さん)
第2部 講座「感染症対策を考慮した避難所運営ゲーム」
参加者を8グループに分けてESGを体験

事業の成果

- EGS (避難シミュレーションゲーム) のPR活動ができた
- 中学生に、早期非避難の重要性、避難所運営の大切さ、防災意識の啓発等ができた

活動現場レポート 防災講演会 (11月27日 / ほしらんどくだまつ)

- ◆ 防災講演会の第1部では、気象予報士の坂本京子さんが、日本を襲った集中豪雨や台風の特徴などを取り上げ、気候が危険な状態に変化しつつあることを説明されました。また、災害が発生する恐れのある時の心構えなどを話され、皆さん熱心に聴講していました。
- ◆ 第2部は、ESG (避難シミュレーションゲーム) をグループに分かれて行いました。このゲームは避難所のレイアウトを考え、運営していくもので、グループで相談しながら安心・安全な避難所にするべく、真剣に取り組まれていました。
- ◆ みなさん災害が起こった時の心構えや対応方法を、ゲームで楽しみながら学んでいました。



グループで考えながらゲームを進行

団体名 オリーブ・シード (山陽小野田市)

代表者名	岡本 照美	団体の目的 ・山陽小野田市及び県内の防災意識の向上を図るため、防災力のある地域づくり、防災ネットワークづくりを行う
構成員数	5人	
設立	R2年1月	
問い合わせ先	山口きらめき財団へ	

事業名 「オリーブ・シード」防災意識向上事業

- 事業の目的**
- 「防災」意識の向上はまだまでであるため、防災ラジオの普及に力を入れる
 - 「防災」を身近に感じるために考案した「あい防」(防災バック)の普及や、「アースデイin山陽小野田市」のイベントによる防災への関心を高める

- 事業の内容**
- 「アースデイ in 山陽小野田市」をラジオ特番で開催/9月26日(日)
「第7回アースデイ～あの日を忘れない」と題したラジオ放送を FM スマイルウェーブで実施(4時間の特別番組)
※当初は屋外イベントを企画していたがコロナ禍により計画変更併せて、出演予定だったアーティストによる防災に関する落語やパフォーマンス等を youtube で発信
 - ラジオ番組のコーナー「やっぱり防災じゃなくっちゃ」での情報発信
 - 防災バッグ「あい防」のリニューアル
 - 公民館、自治会での防災講座の開催や保育園の防災マニュアル作成

- 事業の成果**
- ラジオ特番は大きな反応があり、備えることの大切さを知ってもらうことができ、防災や備えることへの関心を高めることができた
 - 講座やマニュアル作成をとおして、施設や企業での防災の大切さに改めて気づかされた。今後も防災啓発活動を続け、学校にも働きかけをしていきたい

活動写真



ゲストによるパフォーマンスの他にも、ラジオ放送の様子も youtube にアップされています (写真は youtube より抜粋)

団体名 やない平和を語る会 (柳井市)

代表者名	久保 優子	団体の目的
構成員数	17人	・戦争体験者に、貴重な戦争体験を語っていただき、平和への気持ちを未来に繋げていく ・高齢化された戦争体験者の語りの手伝いと、貴重な体験を記録に残し、子どもたちの平和学習に活用する
設立	H28年4月	
問い合わせ先	TEL 090-1608-2753	

事業名 平和への願いを引き継いでいく事業

事業の目的

- 戦争体験が風化しないよう記録に残す
- 平和講演会を開き、子どもや孫の世代の方に、引き継いだ戦争体験や平和の大切さを語っていただく

事業の内容

- 原爆の日、平和講演会
8月6日(金) 10:00~11:30 / 柳井文化福祉会館 / 参加者約80人
浅海頼子さんの被爆体験、下村太郎さんの祖父の被爆体験の講演
- 学徒出陣の日、平和講演会
10月17日(日) 10:00~11:30 / 柳井文化福祉会館 / 参加者約20人
学徒出陣した町田保さんの戦争体験、中川幸範さんの従軍看護師だったお母さんの戦争体験の講演
- 柳東小学校、平和講演会
12月2日(木) / 柳東小学校
小学6年生を対象に、戦争体験者、藤麻功さんの光海軍工廠での戦争体験の講演

事業の成果

- 戦争体験者の生の声を聴いていただいたことで、記憶に残り、平和を願う気持ちを引き継いでもらえた
- 講演会の様子をビデオに記録し小学校に寄贈したので、今後平和学習の時間に活用していただける

活動現場レポート 原爆の日、平和講演会 (8月6日 / 柳井文化福祉会館)

- ◆ 第一部は、爆心地から2キロの自宅で被爆された浅海頼子さんが、当時の悲惨な体験と、語り部として世界平和への活動貢献をされてきたことなどを語られたインタビュー映像を視聴し、質疑応答が行われました。
- ◆ 第二部は、下川太郎さんの祖父が、船舶工兵として徴兵され、太平洋戦争末期に満州、フィリピン、ガダルカナル島へ派遣された体験話をされました。下川さんは、お祖父さんが体験した戦争の悲惨さを語り継がなければと、語り部として活動されています。
- ◆ 第一部と第二部の間で、元オペラ歌手の中川幸範さんが「原爆許すまじ」を歌唱されました。



平和への思いをあらたに

団体名 NPO法人山口女性サポートネットワーク (宇部市)

代表者名	小柴 久子	団体の目的
構成員数	12人	・男女平等と基本的人権の尊重の精神にもとづき、真の男女共同参画社会の形成を目指して、女性に対するあらゆる暴力を根絶することによって福祉の増進に努める
設立	H14年12月	
問い合わせ先	TEL 0836-37-5601 (事務局)	

事業名 ビーらぶインストラクター養成講座応用編

事業の目的 ○暴力被害に遭った女性と子どものための心理教育プログラム「ビーらぶプログラム」を実施するためのインストラクターを養成する講座の応用編でプログラムの実習を行う

事業の内容 ○ビーらぶインストラクター養成講座（応用編 全36時間）の開催

- ①7月31日・8月1日／宇部市男女共同参画センター
母親プログラムの講習と母親役を決めてのグループ学習・実践
- ②8月28日・29日／山口女性サポートネットワーク施設
子どもプログラムの講習と子ども役を決めてのグループ学習・実践
- ③9月11日・12日／山口女性サポートネットワーク施設
子どもプログラムの講習と実習、講師からの指導

講座の受講者：13人

事業の成果 ○新たに6人がインストラクターの資格を得ることができ、今後「ビーらぶプログラム」を必要に応じて自前で開催することができる

活動写真



会ではDV被害者支援のため、ホットラインの開設やニュースレターの発行を行われています。また、様々な情報を届けるためのホームページを開設されています。
<http://www.dv-net.jp/>
 お気軽にご相談ください。

DV被害者支援のため、活動現場の写真の掲載は控えていただきます
 ご了承ください



団体名 NPO法人あっと (山口市)

代表者名	藤井 智佳子	団体の目的
構成員数	10人	・子育て中の家族とそれを取りまく地域の人々に対して、子育て支援を中心とした活動を行い、子育てから始めるコミュニティの創造に寄与する
設立	H18年3月	
問い合わせ先	TEL 083-921-0428 (事務局)	

事業名 女性の子育て、ライフスタイル、仕事の両立をサポートするライフワーク
コンシェルジュ育成、支援事業

- 事業の目的**
- 子育て中の女性が、自分らしい子育てができ、いきいきと生活し仕事ができるよう、伴走支援をする支援者を育成する
 - 支援を行うための場を創出し、支援を行いながら支援者としてブラッシュアップする

- 事業の内容**
- ライフワークコンシェルジュ養成講座
6月10日(木) / KDDI 維新ホール (オンライン対応) / 参加者17人
 - ①ライフ支援
/ 講師: 林田あゆみさん ((株)YMFG ZONE プランニング 女性活躍支援グループ)
 - ②女性のキャリア支援
/ 講師: 田中 彩さん (WorkStep(株)代表取締役)
 - ③子育て支援について講義とワークショップで学ぶ講座
/ 講師: 藤井智佳子さん (NPO 法人あっと代表理事)
 - ライフワークコンシェルジュの実践
8月~3月の間、上記養成講座の受講者が、ライフ支援、女性のキャリア支援、子育て支援の現場で、支援者として実践活動を実施

- 事業の成果**
- 様々な悩みを抱えている女性に、総合的に寄り添うことができる支援者(コンシェルジュ)を養成できた
 - 支援者(コンシェルジュ)同士で対応等を共有し、それぞれのスキルアップにつながった
 - もっと多くの女性や団体に周知を図り、相談ができる体制づくりを今後も継続して行っていきたい

活動写真



受講の様子



受講生みんな

団体名 NPO法人やまぐち男女共同参画会議 (山口市)

代表者名	相本 艶子	団体の目的
構成員数	120人	・男女が社会の対等なパートナーとして、あらゆる分野に共に参画し、共に責任を分かち合う「男女共同参画社会」の実現を推進する
設立	S55年6月	
問い合わせ先	TEL 0827-21-8419	

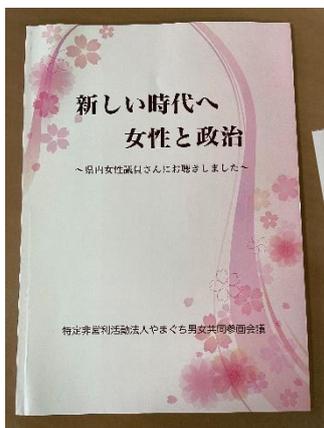
事業名 政治分野における女性活躍応援事業

事業の目的 ○県内地方議会における女性活躍の現状や課題、意向等の調査を実施し、政治分野での女性活躍環境や県民意識の啓発に役立てる

事業の内容 ○県内女性議員の現状と課題、意向調査
 8月～9月の間、県内の女性議員51人を対象にアンケート調査を実施
 ○調査報告・検討会
 11月27日(土)10:30～12:30/県婦人教育文化会館/参加者55人
 政治分野における女性活躍に関する現状と課題の調査結果報告を行い、山口大学の鍋山祥子教授の助言をいただきながら意見交換を実施
 ○調査報告書を編集・発行
 調査結果を報告書にまとめ作成し、県・市町の関係機関等に配布

事業の成果 ○アンケート調査で、女性議員を取り巻く現状や課題が把握でき、これから議員を目指す女性たちの参考になる調査だった
 ○女性議員同士のネットワークや市民リーダーとの繋がりができ、議会での女性活躍環境づくりは改善が進んでいることが分かった
 ○地方議会における女性活躍応援活動を推進することで、身近な課題の政策化に繋がり、これからの地域振興に貢献できると感じた
 ○女性議員を取り巻く現状や課題等を広く紹介することで、女性の声や意見が反映できる男女共同参画社会の実現に寄与できる

活動写真



作成された冊子
 女性議員へのアンケート結果が考察とともに分かりやすくまとめられています

団体名 Kananowa (下関市)

代表者名	前田 亜樹	団体の目的
構成員数	200人	・児童の健全な生活と学習環境を整え地域社会に貢献する
設立	H28年6月	
問い合わせ先	TEL080-3999-6746 (事務局)	

事業名 照子親活動（夜のお勉強会、夏休みお勉強会）

- 事業の目的**
- 子どもたちが家庭環境に関わらず、将来を諦めずに学ぶことのできる環境づくり
 - 地域の大人たちとの関わりから、子どもたちが多くの愛情を受け取れることを目指す

- 事業の内容**
- 夜のお勉強会
平日 20:00～22:00 / 代表者自宅 / 1日利用数：25人
中学生対象の学習支援
 - 夏休みお勉強会
7月～8月の夏休み期間中の平日、コミスクの仕組みを活かして桜山小学校や文洋中学校において実施
参加者約130人/日
小・中学生対象の学習支援や昼食の支援、居場所づくり

- 事業の成果**
- 夜のお勉強会では、家庭環境に左右されることなく、様々なニーズを抱えた子どもたちの居場所を確保することで、前向きに自分の未来を考えることができた
 - 学校での様々な課題に寄り添うことができ、不登校の未然防止に繋がった
 - 夏休みに一人で過ごす子どもたちが規則正しい生活を送ることができ、お母さんたちが昼の準備をすることなく安心して過ごせ、学力向上に繋がった

活動写真



夏休み期間のお勉強会の様子。昼食は会員さんやボランティアで手作りされています



夜のお勉強会

団体名 角倉校区ふれあいステーション (下関市)

代表者名	酒井 能具	団体の目的
構成員数	24人	・住民のふれあいと助け合いで青少年の健全育成と明るく住みよいまちづくりに寄与する
設立	H13年4月	
問い合わせ先	TEL 083-266-0534	

事業名 コロナに負けまい！わが町の青少年育成活動

- 事業の目的**
- 地域の高齢者による青少年の人間性や社会性向上を目指す
 - 郷土芸能伝承や地域祭りの活動を通じて社会性を向上させる
 - 高齢者に、社会貢献の場を提供し、高齢者の生きる力の向上を目指す

- 事業の内容**
- 小学生への社会人教育
6月～3月(10回)／角倉小学校
当会が学校と連携して、福祉学習、環境学習(地域清掃)、地域探検学習、昔の生活体験等を小学生に提供
 - 郷土芸能「平家踊り」の伝承活動
 - ①練習活動
毎週1回、弟子侍町民館において演奏発表会に向けての太鼓、三味線などの練習を実施
 - ②演奏発表活動
7月9日／弟子侍町民館、角倉町民館／参加者100人
地域住民の前でこれまでの練習の成果として太鼓、三味線などの演奏を披露

- 事業の成果**
- コロナ禍でも、沈静化の谷間に素早く行動し、高齢者が児童と一緒に活動できたことは大きな成果であった
 - 青少年の人間性や社会性向上の教育成果があった
 - 高齢者に社会貢献の場を提供し、生きる力の向上効果があった

活動写真



多岐にわたる活動で子ども達の健全育成を支援



団体名 NPO法人うべ★子ども21 (宇部市)

代表者名	下郡 ひづる	団体の目的
構成員数	160人	・地域の子ども文化に関する事業を行い、すべての子どもが「豊かな子ども時代」を過ごすことができる環境づくりに寄与する
設立	S50年3月	
問い合わせ先	Tel0836-21-9114(事務局) ※月・水・金11:00~16:00	

事業名 子どもの心を開放する、親子のための狂言体験
ずっこけ狂言ばなし公演+狂言ワークショップ事業

事業の目的

- 狂言の所作や発生などを体験することで、子どもたちが心を開放して楽しく自己表現でき、コミュニケーション力を養う
- 日本の伝統芸能の良さや楽しさを学び、創造力、感性、心の育成に取り組む

事業の内容

- ずっこけ狂言ばなし「すってんオヒャヒャーおきゃ〜がり」の公演
9月26日(日) / 宇部市男女共同参画センター / 参加者105人
民族芸能アンサンブル「若駒」による、狂言「節分」「ふたり大名」、邦楽演奏「テレツク天」
狂言ワークショップ

事業の成果

- 体験活動を通して自己表現する楽しさやコミュニケーション力を養い、心の栄養補給をすることができた
- コロナ禍でも、子どもたちに日本の伝統芸能、狂言の面白さを伝えたいという劇団・主催側の思いを伝えることができた

活動現場レポート ずっこけ狂言ばなし (9月26日 / 宇部市男女共同参画センター)

- ◆ 民族芸能の舞台作品の制作・上演活動を行っている「民俗芸能アンサンブル若駒」が、「ずっこけ狂言ばなし」を披露されました。ずっこけ狂言はなしとは、狂言の伝統的な様式を活かしつつ、子どもにも理解できるよう分かりやすいセリフと動きに演出し直したお芝居です。
- ◆ 上演されたのは、「節分」と「ふたり大名」で、平土間の円形舞台で客席と近く、また客席とのやり取りもあり、子どもたちも大きな声で応えるなど大変盛り上がりました。
- ◆ 能管(横笛)、締め太鼓、三味線による「テレツク天」の演奏もありました。
- ◆ 公演後、子どもたちを対象に狂言の所作や言い回しなどを体験するワークショップが行われました。演者の指導の下、みんな一生懸命に取り組んで楽しんでおり、貴重な体験となりました。



表現する楽しさを味わう

団体名 NPO法人森と海の学校 (宇部市)

代表者名	岡村 精二	団体の目的
構成員数	25人	・心豊かな冒険心にあふれる青少年及び指導者を育成し、社会教育の推進と青少年の健全育成に寄与する
設立	S59年4月	
問い合わせ先	TEL 0836-41-5435 (事務局)	

事業名 一人親家庭・不登校児童等教育支援事業「もう一つの学校」

事業の目的 ○自然体験や創作活動を通して「学ぶ力」「自己肯定感」を高めることで「生きる力」を育み、子どもたちの輝きを取り戻し、学校復帰や学習意欲を促す

事業の内容 ○自然に学ぶ「森と海の学校」の開催
参加者延べ220人

開催日	場所	内容
8月22日	森と海の学校	メタルマッチによる火起こしと野外炊飯
9月25日	妻崎漁港	釣り名人が教える魚の釣り方と魚釣り大会
10月9日	周防灘・関門海峡	ヨットクルーズ to 門司港レトロ
10月24日	宇部市男女共同参画センター	塩づくり体験（竜神の鹽）と豆腐づくり
11月6日	アクトビレッジおの	自然に学ぶネイチャーゲーム in アクトビレッジ
12月5日	宇部市原ふれあいセンター	大工さんが教える巣箱づくり
1月16日	宇部市男女共同参画センター	達人が教えるラーメンとチャーシューの作り方
2月 12・13日	十種ヶ峰青少年事前の家	冬季合宿（スキー） in 十種ヶ峰青少年自然の家
3月6日	森と海の学校	農家さんから学ぶ野菜作り

事業の成果 ○参加した児童生徒のうち、不登校だった中学生は高校進学を決め、小学生は学校に通えるようになった
○活動を通して達成感・自己肯定感を育み、輝きを取り戻し、学校復帰や学習意欲を促すことができ、必要性を強く感じた

活動現場レポート 自然に学ぶネイチャーゲーム in アクトビレッジ (11月26日/アクトビレッジおの)

- ◆ この日は、山口県ネイチャーゲーム協会の松田和子さんの指導で、自然や生き物の観察、暮らしなどを学びました。
- ◆ 参加した子どもたちは、食物連鎖のピラミッドを体感するゲーム、鳥の親になってあらかじめ隠された餌（洗濯ばさみ）を茂みから探すゲーム、動物クイズなどを通して、自然の仕組みや厳しさを楽しみながら学んでいました。
- ◆ 午後からは、小野湖周辺の散策が行われ、一日を通して自然に親しむことができました。



ネイチャーゲームを体験



団体名 NPO法人とりで (岩国市)

代表者名	金本 秀韓	団体の目的
構成員数	67人	・社会的養護を必要とする子どもたち、地域の家庭に対して、相談、支援を行うことで児童家庭福祉、地域福祉の増進に寄与する
設立	H28年3月	
問い合わせ先	TEL 0827-35-6509 (事務局)	

事業名 とりでこども食堂・とりで塾・とりでモーニング・とりで子ども宅食

事業の目的

- 子どもが安心できる居場所を地域に作ること
- 支援が必要な家庭へ介入し、子どもと保護者の2つの側面から家庭を支えることが可能となり、育児負担軽減による虐待予防を目指す

事業の内容

- とりでこども食堂
毎月1回/平田・川下中学校区/参加者延べ1,286人
子どもへの無料弁当配布、遊びの場の提供
- とりで塾
毎月隔週火曜日/平田・川下中学校区/参加者延べ852人
子どもへの無料学習支援、遊びの場の提供
- とりでモーニング
毎月隔週水曜日/平田・川下中学校区/参加者延べ616人
子どもへの無料朝食(菓子パンやジュース等)の提供
- とりでこども宅食
毎月1回/平田・川下中学校区/配布数1,275個
飲食店で購入したお弁当を希望の家庭へ無料配布

事業の成果

- 活動に来る子どもにアンケートを実施したら前向きな回答が多く、「人との関係が広がった」等の意見もあり、良い影響を与えていることが分かった
- 一時保護等がかかわりを持った子どもに対して、活動を紹介することで居場所が提供でき、今後もかかわりを継続するきっかけとなった

活動現場レポート



団体名 有帆竹灯会 (山陽小野田市)

代表者名	坂野 啓治	団体の目的
構成員数	35人	・竹資源を活用し、イベントを盛り上げ、独自イベントを計画・実施し交流を深める ・青少年の健全な育成と地域活性化を進める ・里山の自然環境の保全・整備に努める
設立	H29年5月	
問い合わせ先	TEL 090-3747-3432	

事業名 物作り体験と交流による青少年健全育成事業

- 事業の目的**
- 青少年が気軽に参加し、一緒に物作りを体験する中で会話し、学び、考えなどを経験して自分の成長につなげる
 - 青少年の健全育成の輪を広げ、地域の活性化につなげる
 - 自然環境の保全、整備に努める

- 事業の内容**
- 機関紙「里の竹灯り」の発行
8月と1月の年2回、130部発行、関係機関・地域関係団体・協働団体・地域住民に配布
 - 第5回「わくわく竹あかり in 江汐」の開催
10月23日(土) 15:00~19:00 / 江汐公園 / 参加者約350人
竹とうろうの点灯と竹灯鑑賞、竹工作体験(竹カッポン・竹ぶんぶん作り)、ステージイベント(和太鼓、尺八、フルート、バンド演奏)

- 事業の成果**
- 「物作り体験」の場を設けることができ、多くの子どもたちが参加し、用意した材料全てを使用した
 - 当会の活動の目的や内容等が多くの人に伝わり理解が得られるようになった
 - イベントの参加者が増え、「青少年の健全育成」の必要性が地域に広がった
 - 地域活動の関係団体同士の「輪」が広がった

活動現場レポート 第5回「わくわく竹あかりin江汐(10月23日/江汐公園)

- ◆ 竹細工の体験コーナーでは、竹とうろうの絵付け、竹カッポン、竹ブンブン作りが行われました。子どもたちは、出来上がった竹カッポンで楽しそうに遊んでいました。
- ◆ 点火セレモニー後、参加者が竹とうろうの中のろうそくに点火していきました。バラ園に並べられた約1,100本の竹灯籠に明かりがともり、フルートも演奏され、会場は幻想的な雰囲気につまれました。
- ◆ 今回、初めて実施した高所作業車を活用した地上数メートルから竹とうろうを鑑賞する夜の空中散歩には、長い列ができるほど人気を集めていましたが、多くの方が来場しており、地域で親しまれているイベントになっているのが感じられました。



子ども達も一緒に竹とうろうに点灯



団体名 NPO法人eコムひかり (光市)

代表者名	吉原 市昌	団体の目的
構成員数	11人	・青少年・高齢者及び障害者に対して、情報通信技術の促進を図る事業を行い、情報化社会の発展に寄与する
設立	H16年5月	
問い合わせ先	山口きらめき財団へ	

事業名 島田小学校区 放課後子ども教室パソコン教室

事業の目的 ○夏休み期間に小学3年生以上を対象に、パソコンの基本的な使い方、お絵かきやインターネット、プレゼンなどを使い、パソコンで「何ができるか」を学習する

事業の内容 ○夏休みパソコン教室の開催
 7月27日、8月3・10・17・24日の5日間／光市民ホール
 ／参加者延べ22人
 ①この国はどここの国の国旗かな？
 パワーポイントを開くと国旗が表示される機材を使用し、国旗をクリックすると、その国の案内や世界遺産等の社会的風景を検証する方法を指導
 ②世界を遊覧飛行しよう
 YouTube Google Earth Studio の「簡単に使う」シリーズの「シンプルに2地点」と「カメラターゲットを使う」を使用しながら指導

事業の成果 ○「世界の国旗」と「位置」の勉強では、その国の世界遺産なども分かり社会教育の一環となった
 ○「遊覧飛行」は、世界中を見ることができると受講生はすごく感激していた様子。アンケートの結果は好評で、次年度への自信が深まった

活動写真



パソコン教室の様子



指導を受けながら





発行

令和5年(2023年)5月

公益財団法人

山口きらめき財団

YAMAGUCHI KIRAMEKI FOUNDATION

〒753-0082 山口県山口市水の上町1番7号 水の上庁舎2階

TEL.083-929-3600 FAX.083-924-9096

E-mail:info@y-kirameki.or.jp <http://www.y-kirameki.or.jp>

